

# 年の差フレンズ部

## 〈第2回会議〉

開催日時：2017年6月17日（土）13：00－15：00

場所：市役所3階センタース 第4音楽室

参加人数：20名



当日のながれ

- 1、年の差フレンズ部について
- 2、夏祭りについての部長ミーティング報告
- 3、自己紹介（チーム内）
- 4、活動内容の確認（チーム内）
- 5、新入生の参加チーム選び（チームや活動の説明や勧誘）
- 6、夏祭りについての討議
- 7、名刺のデザイン検討
- 8、宿題の発表



# 1、年の差フレンズ部について

新しい参加者も迎えたため、市役所の加賀さんから、「年の差フレンズ」および「年の差フレンズ部」について、改めて下記のような概要説明がありました。

高齢化率が日本一である秋田市において、「人生の先輩がどうしたら、できるだけ長く地域の中で心身ともに元気で生き生きと暮らし続けられるのか」を、市民の皆さんと一緒に研究し、実験や実践を試みようというのがこの活動の主旨です。

2年前に、3年計画でスタートし、今年はその総仕上げの年となります。



まず初年度は、人生の先輩の実態をリサーチし、そこから見えてきた人生の先輩の方々の姿を展覧会にして、多くの皆さんにご覧いただきました。



次年度は、その結果を踏まえて、「食」「運動」「音楽」の3つのチームに分かれて、「年の差フレンズをつくろう！」をテーマに、それぞれの活動を、「年の差フレンズ文化祭」で発表しました。



そして今年度は、最終年となりますので、より活発な活動を展開し、仲間を増やし、この運動をより多くの市民に広げて行っていただきたいと思います。

市役所も応援していきますので、みなさん、どうぞより力強い活動を展開していきましょう！

## 2、夏祭りについての部長ミーティングの報告

「年の差フレンズ部」は、7月23日のエイジフレンドリーあきた市民の会主催の「夏祭り」に参加することになりました。

その内容について、3部長がすでに何度かミーティングをして決まったことを、運動チームの部長、絹川さんと加賀さんが報告しました。

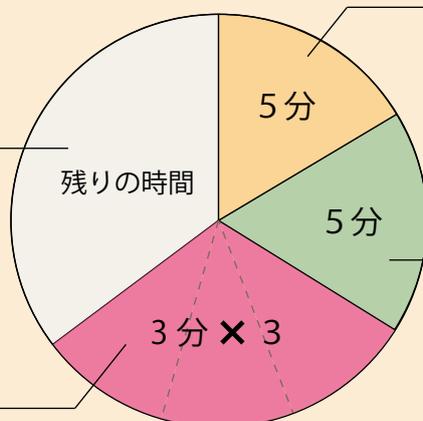


①午前と午後に各30分ほど、ステージ上でプレゼンテーションができる。

30分の内訳は、

全体的な活動についてと、  
新入部員募集のPR

各チームの活動PR  
×3チーム



初年度に開いた  
「展覧会」の説明

次年度から始まった  
「年の差フレンズ部」の  
活動についての説明

②明徳館高校の中に、長机ひとつ分程度のブースを出せる。

全部で10ブースほど出る予定。



## 3、自己紹介タイム

名前、呼んでほしいニックネーム、最近発見したことの3つでそれぞれ自己紹介をしました。



## 4、活動内容についての確認

「年の差フレンズ部」の目的、チームごとの活動内容と目標などについて、チームメイトと話しながら確認しました。分からないことがあれば、質問しました。各チーム、特に不明な点はありませんでした。

## 5、新入生の勧誘とチーム選び

今回から加わった人が、3つのうちどのチームで活動するかを決めてもらいました。

まず3チームの部長が、それぞれの部活動について説明し、その部の魅力について簡単なプレゼンテーションを行い、その後、全員が席を立って、交流しながら、所属するチームを決めました。

「音楽チーム」には3人、「食チーム」には2人、「運動チーム」には1人の新入部員がありました。



## 年の差フレンズ専用名刺！

今回、年の差フレンズ専用の名刺デザインが提示されました！

好きな色を選ぶことができ、裏面には自分の連絡先やちょっとしたメッセージなどが書けるようになっています。

この4色ある色が素敵ということで盛り上がりました。

この名刺をじゃんじゃん活用して、年の差フレンズ部員を増やしていきましょう！



## 6、夏祭りについての討議

### 運動チーム

周りの人とじゃんけんして勝った人が負けた人に飴を渡す。

飴は年の差フレンズ部宣伝チラシに包み、PRする。お茶引換券にもなっていて、ブースでお茶が飲める。



### 食チーム

イケメンが秋田のおやつを配る。

配るものはばったら焼きをはじめとする、保健衛生上安全な食べ物を配る。

パッケージの中にレシピを入れて、自宅でも作れるようにする。



### 音楽チーム

秋田県民歌の1番を歌ってから、2番をBGMにみんなでシュプレヒコールで活動PRをする。

先輩・鎗目さんに、後輩たちが浴衣を着せてもらって歌う=年の差フレンズの実践。そのこともPRする。

「秋田」を表す手話を、聴取と一緒にやる。

何かシンボルになるものを身に付けて歌う（色を合わせた小物など）



## 7、名刺のデザイン検討

3つのデザインからどれが良いか、2位まで選び、意見があれば、デザイン紙に書いて提出してもらいました。各チームで出た案を精査して、再度デザインしなおして再提案します。3つの案はどれも良い点があり、1つを選ぶのに非常に難儀していました。

50枚配れば、次のデザインの名刺を提供するといった工夫をしても……。



## 8、宿題の発表

7月23日開催の夏祭りについて

- ①ステージでの3分間の内容を、各チームで詰める。
- ②明德館高校内に出すブースの内容を詰める。